

評価担当者
()

観点	課題解決力				協働力	表現力
	課題・仮説の設定	実験計画	結果	考察	活動	プレゼンテーション
	課題発見力・情報収集力	実験デザイン力	データの質	分析・考察力	協力し活動する力	わかりやすく伝えるための工夫
評価の資料	ポスター＋発表	実験ノート＋発表	実験ノート＋ポスター	実験ノート＋ポスター＋発表	実験ノート＋行動観察	発表
4	文献や先行研究を調査し、根拠をもって課題設定できている。次に、その課題をもとに検証可能な仮説をしっかりと立てることができている。	先行研究等を踏まえ、明確な目的を立て、妥当な方法による実験が計画されている。	仮説の検証を多角的に行うための結果が十分に得られている。	得られたデータを基に先行研究や知識をもとに仮説を十分に検証し、結論に達している	各々が自分の役割を十分に理解し主体的に活動しており、グループ内での情報の共有が十分に出来ている	以下の項目のうち、できている項目に○をつけてください。 1項目達成ごとにランクアップ ・聞き取りやすい話し方であり、聴衆の反応を意識して発表している ・発表者の意図が伝わるグラフや表などを選択している ・適切な時間内で発表できている ・質問に対して適切な回答をしている
3	文献や先行研究を調査し、根拠をもって課題設定できている。次に、その課題をもとに検証可能な仮説を立てることができているが、改善すべき点がある。	仮説を検証するための実験計画ができている。	仮説の検証を行うための結果が得られている。	仮説の検証を行い結論は導くことはできているが、論理的な飛躍が見られる	各々が主体的に活動しており、グループ内での情報の共有が十分にできている。	
2	文献や先行研究を調査し根拠をもって課題設定できているが、検証可能な仮説を十分に立てられていない。	仮説を検証するための実験計画ができているが、改善すべき点がある。	結果は得られているが仮説の検証は困難である。	仮説の検証を行ってはいるが、根拠が不十分である。	主体的に活動できていないものがあり、情報の共有が十分にできていない。	
1	課題の設定が行われていない。	検証可能な実験計画が立てられていない。	結果が得られていない。	仮説を検証できていない。	主体的に活動できていないものがない。	
評価	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	
コメント欄						

目的(テーマ)と課題(目標)

→達成したい“目的”(テーマ)はいくつかの、すぐには解決できない“課題”に分けることができます。実験や計算、調査によって、課題を一つ一つ解決することで目的の達成に近づきます。(右図)

仮説・・・真偽はともかくとして、課題を解決するために設定する命題のこと。

